TAIHEIYO CEMENT
NEWS LETTER

２０２５年５月１３日

CO_2吸収・硬化セメント「カーボフィクス®セメント」を使用した IL ブロックの CO_2固定量を国連に報告

太平洋セメント株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役社長：田浦良文　以下、当社）が開発した「カーボフィクス®セメント」（英語表記：CARBOFIX® CEMENT）を使用したコンクリートによる CO_2固定量が、日本の温室効果ガス排出・吸収量（CO_2固定量）として盛り込まれ、国際連合（国連）に報告されました。

日本政府は、国連条約、パリ協定ならびに関連する締約国会議の決定に基づき、毎年国内の温室効果ガスの排出・吸収量を算定し、公表しています。昨年度は、世界で初めて 3 類型（4 種類）の環境配慮型コンクリートを対象とした吸収量（CO_2固定量）が算定され、今年度は新たに当社の CO_2吸収・硬化セメント系材料カーボフィクスセメントを使用したコンクリートが追加されました。

2023 年度におけるわが国の吸収量は、カーボフィクスセメントを使用した IL ブロックによる CO_2固定量 0.2 トン（施工面積 25 ㎡、IL ブロック 1344 個）を含む合計 121 トンと算定され、国連に報告されました。

当社では、NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）の助成事業「炭素循環型セメント製造プロセス技術開発（2020～2021 年度）」の取り組みとして、「低炭素型炭酸化養生コンクリート製品の製造技術開発」に取り組んでいます。

今回の算定対象となったカーボフィクスセメントを使用した IL ブロックは、当社熊谷工場のキルン排ガスから分離・回収した CO_2を使用し、太平洋プレコン工業株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：五十嵐明）埼玉工場で炭酸化養生（コンクリートに CO_2を強制的に吸収・反応、硬化させる技術）したものです。製造された IL ブロックは当社熊谷工場の駐車場に施工され、現在も良好な状態で供用されています。

カーボフィクスセメントは、従来のポルトランドセメント以上にリサイクル材料を原料として活用できるため、CO_2排出量の削減のみならず、サーキュラーエコノミーの構築にも貢献する材料です。また、ポルトランドセメントと同様の現有設備で製造可能であるため、今後の CO_2吸収コンクリートの需要増加にも柔軟に対応可能な製品です。

当社グループでは、2050 年のサプライチェーン全体でのカーボンニュートラル実現に向けてカーボフィクスセメントの普及拡大に取り組み、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

※１：カーボフィクス（英語表記：CARBOFIX）は当社の登録商標です。

【参考リリース】
・2022 年 9 月 20 日
CO_2吸収・硬化セメント系材料「カーボフィクス®セメント」の開発に成功
https://www.taiheiyo-cement.co.jp/news/news/pdf/220920.pdf

＜本件に関するお問い合わせ先＞
太平洋セメント株式会社　総務部広報グループ
TEL. 03-5801-0364　FAX. 03-5801-0365
e-mail. ir-com@taiheiyo-cement.co.jp